

セーフティライト 推進委員会

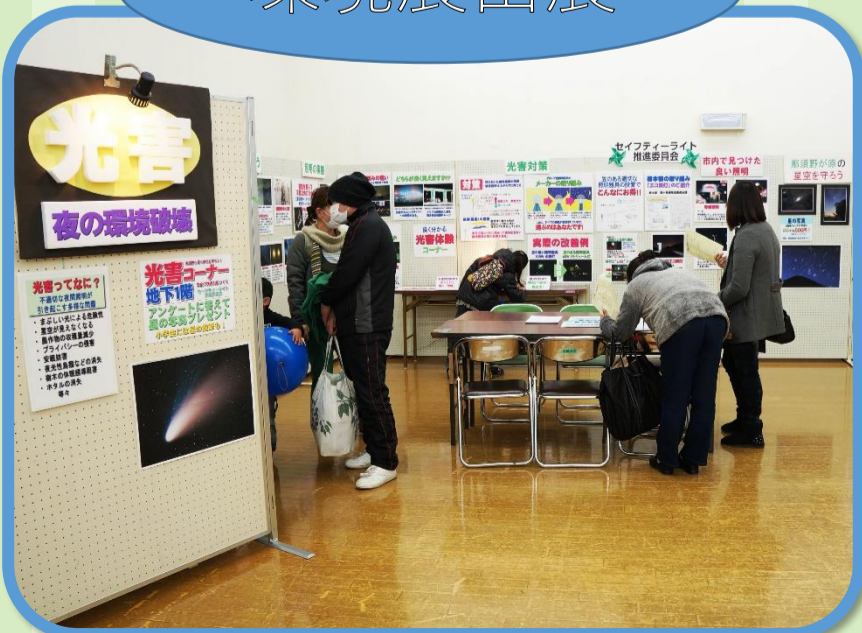
団体紹介

「きれいな星空」「まぶしさのない安全な照明」を市民の皆さんに知って頂くため1999年から活動を続けています。1998年に環境庁が「**光害(ひかりがい)対策ガイドライン**」を策定し、現在も改定が行われており光害対策の重要性が高まっています。

同メンバーでの姉妹活動として「**那須野ヶ原星の会**」も2006年に発足し「**田舎ランド鳴内**」において年間3~4回の「**星空観察会**」も計画実施しております。

今後も継続した活動を通じて自然豊かな那須野ヶ原の星空の保全と地域の安全に貢献して行きたいと考えております。

環境展出展



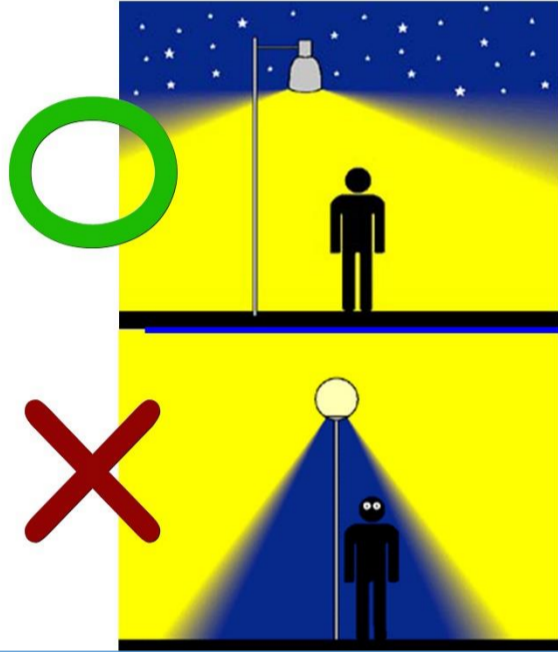
星空観察会



まぶしさの無い安全・快適・エコな街づくりで 「那須野ヶ原の星空を守ろう」

街中ではどうして夜空が明るいのです？

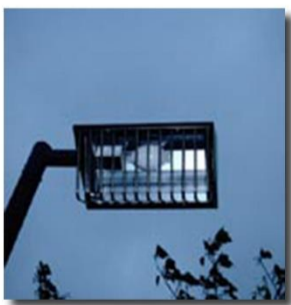
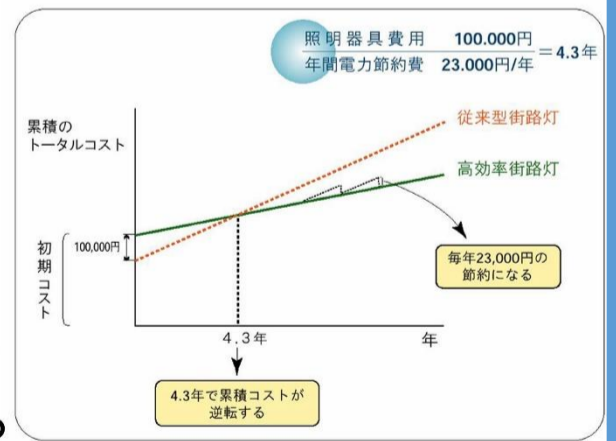
屋外灯があっても現在の様に夜空は明るくなりません。
屋外灯は人々の生活に必要なものです。
原因は設置する屋外灯の質と使用方法にあります。



- 良い照明はまぶしくありません
→ **安全・快適**
- 全ての光を下に反射させて少ない電力消費
→ **エコ・夜空は暗く星空が見える**
- 悪い照明はまぶしく感じます
→ **危険・不快**
- 空に光が逃げて地表が暗いので強力な電球使用
→ **無駄な電力・夜空が明るく星が見えない**

対策の具体例

グローブ型は購入額は安価ですが、地上を明るくするために高輝度の電球にする事になります。そのため電力を沢山使い、5年程で累積電気代がフルカットオフ型との購入差額を超えてしまいます。また、看板照明等は上部に設置して下に向けましょう。



**フルカットオフ型
(40W)**



改善



**グローブ型
(100W)**